

2013年(平成25年)2月7日 木曜日



「安売りはしない。安全性と品質で勝負したい」と語るのは、ブランド米「龍の瞳」の改良などを手掛ける龍の瞳研究所(下呂市萩原町)の今井隆所長(57)。昨夏から、販売部門の法人化や、生産組

近況

合規則の統一など改革を進め、着実に実を結びつつある。

「龍の瞳」の定義を決め、商標の管理を強めることにも着手。契約農家の平等な利益確保を狙い、農家の整理

品質で勝負、着実に成果

にも取り組んだが、
収穫量、売り上げとも前年より増加し

「契約農家のおかげ」と喜ぶ。国内航空会社のファーストクラスでの採用や高齢者施設の単独納入など、営業活動が成果を挙げている。「明るい話題も多い。TPP問題に焦るのではなく、むしろチャンスと捉え、海外に羽ばたく機会としたい」と意気込む。